

## アメリカ帝国主義の侵略戦争と闘おう！

国際民衆闘争同盟（ILPS）フィリピン支部／新民族主義者同盟（BAYAN）

2022年5月20日

国際民衆闘争同盟（ILPS）フィリピン支部）と新民族主義者同盟（BAYAN）、およびその加盟団体は、アメリカ帝国主義の戦争のくびきに苦しむ移民、在外労働者、難民、国内避難民を含む全世界の民衆に固く連帯する。

私たちは、ワシントンとその同盟国である西側帝国主義、企業メディアが増幅している戦争挑発のレトリックを暴露し、それに反対することを決意している。グローバルな軍国主義の利害に偏った大量の偽情報は、戦争や占領、その他の形態の帝国主義的介入に反対して自己決定権を求める民衆の闘いを弱体化させようとするものである。

私たちは、帝国主義戦争が、ファシスト的策略を用いて国を統治する寡頭資本家たちによって農民・労働者が搾取され、テロの犠牲になっている世界の地域にもたらされていることを認識している。米国－NATO とロシアの帝国主義間対立は、ウクライナの民衆に言い表せないほどの暴力と悲惨さを容赦なくもたらしており、彼ら自身も武装したファシスト集団の台頭を完全に可能にした政府に耐えている。

アメリカ帝国主義は、利益を確保し、現在の経済危機の影響を緩和するために世界的な軍国主義や戦争に頼っている。そのため、この種の戦争はさらに多く勃発するだろう。このような状況は、フィリピンにおける民族解放闘争にとって新しいものではない。東南アジアでの米国の覇権は、フィリピンと米国の同盟関係——アジア地域で最も長く、利潤の蓄積にとって最も重要な同盟——に支えられている。

比米同盟の強化は、米国大統領ジョー・バイデンの最優先事項の一つである。ライバルである中国の弱体化を決意しているアメリカ帝国主義は、「アジアにおける中国の拡張主義」をフィリピンへの米軍配備の正当化の理由の一つとして利用している。最近終了したバリカタン演習（2022年3月28日から2022年4月8日）には米軍5100人、フィリピン軍3800人が参加し、実弾訓練、テロ対策、市街戦訓練などの軍事訓練が行われた。これは、ソフト／ハードの両面での代理戦争を開始することで太平洋の戦域を強化するという米国の計画を強く示すものである。

フィリピンの親帝国主義の政治家たちは、フィリピンにおける米軍とその施設の広範な存在を、わが国の安全保障にとって正常かつ必要なものであるかのように描き出している。植民者と帝国主義の操り人形としてしか機能していない寡頭政治家たちは、スペイン植民地主義とアメリカ帝国主義に対する革命的抵抗以来、民族的主権のためのフィリピン民衆の歴史的な闘いを一貫して妨害してきた。

フィリピン大統領になろうとしているフェルディナンド・マルコス・ジュニアが最初に受け取った外交メッセージの一つは、バイデンからのものであった。バイデンはその親書で、マルコス政権との関係強化に意欲を示した。マルコス・ジュニアは、アメリカ帝国主義の全面的な支援の下、20年間にわたってフィリピンを暴力的に支配し、略奪した悪名高い独裁者、フェルディナンド・マルコスの息子である。

2022年5月20日から24日にかけてのバイデンの韓国と日本への「訪問」、および、米国、日本、オーストラリア、インドの四カ国による安全保障戦略対話であるQUADの首脳会合への出席は、東アジアの支配的エリートを統合しようとする試みとしか捉えられない。この寡頭政治家たちの地域的統合は、世界平和のためでも、「テロリズム」に対するグローバル安全保障のためでもない。それはむしろ、現在の独占資本主義の世界的危機を解決するための、米国-NATOのグローバル軍国主義と利潤蓄積を強化せんとする計画のためのものである。

しかしながら、私たち半植民地の民衆は、公正な平和と今日貧困を強いられている民衆にとっての繁栄を促進する独立と民族経済に向けたビジョンを持っている。

私たちは、帝国主義と闘う抑圧された国々での労農同盟を支持する。私たちは、ファシズムを打倒し、アメリカ帝国主義と戦争によって疲弊したすべての国々に真の民主主義と民衆中心の経済への道を開く広範でグローバルな反戦・反帝国主義戦線を構築するために、地域、職場、学校、教会で民衆を目覚めさせ、組織化し、立ち上がらせようと努力している全世界の民主勢力と団結する。

帝国主義が支持するマルコス支配に再度抵抗しよう！

侵略戦争と闘おう！

米国-NATOの帝国主義戦争を終わらせよう！

民衆解放！

民族解放のための闘争、万歳！

国際連帯万歳！

アメリカ帝国主義を打倒しよう！